

デビュー45周年記念

千住真理子

ドラママテイツク・コンチエルト!

原点回帰のコンチエルト!

モーツァルト:

歌劇「フィガロの結婚」序曲

メンデルスゾーン:

ヴァイオリン協奏曲 木短調 op.64

チャイコフスキー:

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35

サラサーテ:

ツイゴイネルワイゼン op.20

©Kiyotaka Saito (SCOPE)



©s.yamamoto



©Naoyasu Uema

[指揮] 岩村 力
[ヴァイオリン] 千住真理子
[管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団

2020 7/11 (土) 2:00pm開演 (1:00pm開場) ザ・シンフォニーホール

1/26 (日) 発売

A席 6,500円 B席 5,000円 C席 3,000円 (消費税込)

主催/朝日友の会、ABCテレビ 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール

ご予約

■アスク プレイガイド
06-6222-1145 [10:00~17:30] (土日祝定休)

■ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 [10:00~18:00] (火曜定休)

■チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:172-918]

■ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:55409]

■CNプレイガイド 0570-08-9990

■e+(イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ (webで予約・購入)

ABCぴあ

検索

携帯サイトはこちら▶▶▶



<http://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入できる!

クレジット決済も可能!! メルマガで優先予約をご案内!!

1度登録すると次回予約が簡単!!

お問い合わせ

ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

ABCクラシックガイドのホームページ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

ABC主催コンサート等のイベント情報をご覧いただけます。

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

千住真理子

ドラマティック・コンチェルト!

デビュー45周年記念

毎年初夏の頃にザ・シンフォニーホールでリサイタルを開催している千住真理子。今年はデビュー45周年を記念し、“コンチェルト弾き”千住真理子の原点回帰を感じさせる、デビューCDに収録された協奏曲をメインにお届けします!前半は、千住さんが「中学生の頃から100回では数えきれないほど弾いているのに何度弾いても新鮮」という、メンデルスゾーンの「ヴァイオリン協奏曲」。そして後半は、チャイコフスキーの「ヴァイオリン協奏曲」。幾度となく演奏してきたこの曲も、今まで積み重ねてきた体験や思い出が詰め込まれ、45周年ならではの演奏を聴かせてくれることでしょう。このコンチェルトを共に響かせるのは、関西フィルハーモニー管弦楽団。指揮には度々千住さんと共演をしている岩村力を迎え、45周年に華を添えます。さらに締めくくりには、千住さんが協奏曲と共に大切にしている小品曲から、人気の高い超絶技巧曲「ツイゴイネルワイゼン」をお届けする、千住さんのヴァイオリン人生と魅力がたっぷり詰まったプログラムとなりました。40周年を迎えた際に、「もう一度アクセルを思いっきり踏み込みたい」と言っていた千住さん。言葉通りアクセルを踏み込み45周年を迎えた彼女。この節目を迎えさらなる境地へと向かいます。



©Kyotaka Saito (SCOPE)

Message <メッセージ>

気高く美しいメンデルスゾーンと、情熱のチャイコフスキー。ツイゴイネルワイゼンは知らぬ人はいない、超絶テクニックと共に、心をえぐる哀歌だ。我が45周年を象る集大成にこの3曲を選んだ。人々が憧れ、夢中になり、心を奪われる名曲に、私自身、人生を重ねてきた。ステージを踏み続けてきた45年間、波乱万丈な波を、時に溺れ、時になんとか乗り越えた先にメンデルスゾーンは切なく私を癒してくれたし、チャイコフスキーは激しく叱咤してくれた。そしてツイゴイネルワイゼンからは押し寄せるようなパワーをもらってきた。心の全てを今、感謝と共に、このコンサートで打ちあけよう。相棒デュランティに魂をあずけて。

千住真理子

千住真理子 (ヴァイオリン) Mariko Senju, Violin

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&パルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。またブラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。2017年はブラームス没後120年記念「ドラマティック・ブラームス」をリリース、また全国でスーク室内オーケストラとツアーを行い、好評を博した。2019年はベートーヴェン生誕250周年に先駆け、ピアニストの横山幸雄と「ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.1」をリリース。2020年はデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を予定。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)「ヴァイオリニスト 20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ <http://www.marikosenju.com/>



©Naoyasu Uema

岩村 力(指揮)

Chikara Iwamura, Conductor

早稲田大学理工学部電子通信学科、および桐朋学園大学演奏学科を卒業。マスタープレイヤーズ指揮者コンクール優勝ほか、国際指揮者コンクールにて度々入賞。2000-07年NHK交響楽団アシスタントコンダクター。2010年より兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・コンダクター。2015年、兵庫県功労者表彰(文化功労)受賞。